

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトガクエンダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップAⅠ、インターンシップAⅡ、インターンシップ等
	学部・研究科等名	全学部・全学科
	担当教職員名・役職	<キャリアサポートセンター主催>渡邊博己<AIP(アドバンスト・インターンシップ・プログラム)>渡邊博己、内山隆夫、三保紀裕、安達房子、色川豪一<GIP(グローバル・インターンシップ・プログラム)>古木圭子、西片聡哉、山下勤、長谷川正、道和孝治郎
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	144
	受入企業等数	55
	受入企業等名	<キャリアサポートセンター主催>亀岡市役所、亀岡商工会議所、京都中部広域消防組合 亀岡消防署、京都信用金庫、京都中央信用金庫、姫田・山田行政書士事務所、(公財)南丹市情報センター、近畿日産(株)、(株)京滋マツダ、京都電子計算(株)、(株)富士通マーケティング、(医)千春会、(株)図書印刷同朋舎、和光印刷(株)、河北印刷(株)、サン・スポーツ(株)、(株)ワークアカデミー、福島鯉(株)、(株)スプレッド、京菓子ふじ幸<AIP(アドバンスト・インターンシップ・プログラム)>(株)クロスエフェクト、(株)サイネックス、御池クリニック、(株)京信システムサービス、京都信用金庫<GIP(グローバル・インターンシップ・プログラム)>上海邁伊茲諮詢有限公司、(株)島津製作所<パイオ環境学部独自インターンシップ>井筒ハツ橋本舗、(株)セントラルフルーツ、(株)山田造園、(株)但馬どり、(株)丹後王国、京都府農林水産技術センター、京都府立 丹後海と星の見える丘公園、農業生産法人丹波村株式会社、農林水産省 近畿農政局 人事課、公益財団法人京都市都市緑化協会など
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ、2.有給インターンシップ、3.海外インターンシップ 4.他県をまたぐ広域インターンシップ、5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ、6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ、7.中小企業でのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事、2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	市役所での行政事務、消防組合での消防業務、信用金庫営業店での事務処理、行政書士事務所での入国管理局に提出する書類作成、ケーブルTV番組制作補助、カーディーラー営業店での営業同行、病院・介護施設での介護サポート、印刷会社での営業同行、印刷機器オペレーション、フィットネスクラブでのトレーナー業務、食品加工会社での製造業務等
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している、6.当該インターンシップは、選択科目として実施している、7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している、8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1～4
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2～18
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1～4年次まで選択可能としているが、受入側のニーズとのマッチングの観点から、実質は2～3回生に推奨している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている、2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている、3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている、4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している、5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	実習先の事業内容等に関する事前の調査・研究を行ったうえで、プレゼンテーション形式で発表を行っている。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている、2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている、3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している、2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している

	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄) 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前研修は全3回。1回目はオリエンテーションとグループワークを実施。2回目は外部講師によるビジネスマナーとプレゼンテーション指導を実施。3回目は実習先に関して事前の調査・研究を行ったうえで、プレゼンテーション形式で発表を行っている。加えて、実習目的についてまとめた事前レポートの提出を義務化。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後研修は全2回。1回目はグループワーク形式で実習の振り返りを実施。2回目は実習先のご担当者や本学の教職員に向けた実習成果報告会を実施。加えて、実習成果についてまとめた事後レポートの提出を義務化。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中の中間時期を目安に実習先へキャリアサポートセンター職員が向向き、中間指導を行っている。中間指導では実習先担当者から本人の勤務状況などをヒアリングしたうえで、本人と面談を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップ意識調査と題して、「就職レディネス」、「有能感」、「自己主体性」について細分化した全30項目、各10段階評価で自己採点。実習前後で実施して成長度合いを測定している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間～3ヶ月間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先の業務カレンダーに準ずる形で、実働10日間の実習期間の確保をお願いしている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	<キャリアサポートセンター主催>実習先に訪問し、プログラム内容の相談や打合せを実施している。実習期間中は実習日誌を利用し、アドバイスをいただいている。実習終了後には受入報告書に勤務評価などをご記入いただきフィードバックしていただいている。<AIP(アドバンスト・インターンシップ・プログラム)、GiP(グローバル・インターンシップ・プログラム)>学生と週に一度面談、実習先担当者と月に一度面談を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.kyotogakuen.ac.jp/
問い合わせ先	大学等名	京都学園大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-406-9146
	メールアドレス	career@kyotogakuen.ac.jp